

2025 年度 第 2 回一宮市男女共同参画推進懇話会 議事録（要旨）

日 時 2025 年 10 月 15 日（水）15：00～16：15

場 所 本庁舎 6 階 特別会議室

出席者 11 名

欠席者 1 名

傍聴者 なし

議 題

- (1) 第 4 次一宮市男女共同参画計画改定に向けて【資料 1】
- (2) 「性別を理由にモヤっとした言葉」について【資料 2・3】
- (3) その他 懇話会委員の任期満了について

【議事録】※発言順

議題 1 第 4 次一宮市男女共同参画計画改定に向けて	
懇話会委員意見	事務局の回答
女性の悩みごと相談について ・女性だから守られるという考え方が進んでしまい、逆に男性の悩みごとが増える可能性がある。 男性の悩みごと相談にも対応しているのか。 女性限定の窓口ではなく、男性も相談できるよう裾野を広げた方がいいと思う。	男性から相談があれば、市民総合相談の窓口を案内。
女性の悩みごと相談について ・男性と女性を分ける必要はないと思う。	
女性の悩みごと相談について ・市民総合相談は専門ではない方が対応することになるのか。	DV 相談については、一律こども家庭相談課で受ける。男性に関しては愛知県が窓口を設置しているので深い内容になれば愛知県の窓口を案内している。
・男性は相談するハードルが高い。相談窓口を設置するのは重要だと思うが、相談のハードルを下げる意識啓発もあわせてする必要がある。	市役所の 1 階、男性用トイレには、愛知県の DV 相談窓口の案内がある。男性しか入れないところなのでハードルを下げる取り組みの一つ。
次期計画では、男性の視点の相談事業を組み入れることも検討していただけるか。	啓発は相談窓口だけではなく、いろいろなところで引き続きやっていく。

そもそも一宮市男女共同参画推進懇話会の目的は何か。また目指すゴールは何か。	男女共同参画社会の実現に向けて、いろいろな分野からご意見をお聞きする場。最終的には男女共同参画社会の実現を目指す。
男尊女卑がいまだに根強い。男性の相談窓口の話が出たが、もっと女性にフォーカスすべきだと思う。 女性が参画しやすい社会になっていくべきだと思う。	男女共同参画計画等も含めて基本的に、女性の地位を高めて女性が社会で活躍できるようになっていく。お互い尊重しあって活躍できる社会にしていく。 どちらかというとな性は重視されている。
短期のアルバイトに応募してくる方で、「LGBTQ+」の関係で、男性なのか女性なのか分からない場合がある。 トイレどうしたらいいのか。更衣室どうしたらいいのか。 もし市役所にそういう方がきたら推進する立場としてどのように対応するのか。 昔と比べると普通にいらっしゃるし、隠さないようになってきている。 人口減少は致し方無いことだと思うが、男女隔てなく活躍していくために何をしたらいいのか、来年実現できなくても10年後にそうなるために、来年何をやる必要があるのか考える必要がある。 「モヤっとした言葉」の募集も何年か続けているが、その先のセカンドステージはないのか。最後のゴールを考えなくてはいけない。 マンションが建てられ、一宮市が単純に名古屋に近いだけのまちになってしまうと寂しい。 今ある資産を活かして、市民のみんなが参加してやっていく何かがあるといい。	
計画が計画倒れになってしまっはいけない。 できるだけ一宮で働いてほしいし、一宮でお金を使ってほしい。 そういうまちづくりをしていくことが大事であり、男女共同参画は活用できるのではないかと考えている。	

資産を活かすという話に関連して、タワーパークマラソンのボランティアに参加した。市外からもたくさんの人が来ていた。色んな人が一宮市を見る場だなと思った。男女混合で走る部門があると共同で目標達成することが、目に見えて分かる。	
マラソンに限らず、応用が利く。今までは男性だけ、女性だけで行っていたものを、組み合わせて行う。	
学校ではここ5年くらいで、随分状況は変わった。例えば男女で分かれていた名簿が、あいうえお順になったり、男の子も「くん」ではなく「さん」で呼ぶようになった。先生たちも力仕事は男の子に、というような指示もなくなった。 性別が違うからではなく、その人単体として見た、協力・共同の仕方が理想。 いまはステップとして、男性と女性がまだフラットではないので、女性を上げるところかなと思う。	
前回の会議で、男性の育児休業取得率が下がったという話があったが、全国的にはないので一宮市が下がったのはなぜか。 女性が自己実現を目指そうとしたときに、結婚・出産についてどうしようと思ってしまう。やりたい仕事を諦めることが現実としてある。 男性の育児休業取得率が下がると結果として、結婚しない、子供を産まないに繋がる。 何かを諦めなければならないとなると、すごく気の毒なので一宮ならではの何かがあるといいと思う。	
現在は育休を1か月取得するようと言われていたが、自分の時はなかなか1か月は難しかった。ちょっとでも休むと「よく休めたな」と言われる時代だった。 現在は休まないと、「おかしいんじゃないか」と言われるようになった。1か月休めるように自分の仕事を調整出来ない人なんだ、上司も休みを取らせることができないんだという風に変わってきた。 1週間くらいでは奥さんからすると、大したこともやってないのと思う。1か月あると男性も自分が何をやらないといけないのか気付く。それを会社としてどうやって取らせるのかに注力している。 最初は無理矢理にでも変えていかないといけないこともあると思う。	

DV の相談はなかなか 1 回や 2 回で解決しない。場合によっては警察と連携することもあると思う。 時々ニュースで市役所や警察に相談したが、亡くなってしまうことがある。一宮市からはそういうことがないようにしてもらいたい。	
男女共同参画について、多くの市で協議会等があると思うが、委員の男女比率はどうなっているのか。	他市の状況までは分からない。 市の外部委員を含めて構成される会議では、基本的に女性が 4 割となるよう指針を設けているところもある。

議題 2 「性別を理由にモヤっとした言葉」について

今回から高校生以上の一般部門も加えて、4 回目。作品募集事業のテーマや募集内容について、その他関連事業の提案やアイデアなど、ご意見をいただく。

懇話会委員意見	事務局の回答
私が小さい時は、看護師さんのことを看護婦さん、保育士さんのことを保母さんと呼んでいた。 変わった部分を大人に対して周知・啓発が大事。 男女共同参画については子供たちのほうが理解があると思う。 ダメなところだけではなく、ここ変わったねというポジティブな発信も面白いと思う。	
カレンダーは人気ですぐに無くなってしまうと聞きました。 どういったところに置いてありますか。	市役所・出張所等で配布。 問い合わせも入る。
使いやすいからですかね。	カレンダーがもらえるから、という方も多いと思う。 手に取って見ていただければ、新たな気付きもあっていいと考えている。
今の話からすると、一般の市民に配るよりも会社に配った方が良いと思う。	紙で配るのが難しくなってきた。 販売するのとか、データで公開等、やり方検討していく。
TikTok での発信をやりましょう。	SNS も含めて検討。

議題 3 その他 懇話会委員の任期満了について

現在の懇話会委員の任期は、2026 年 3 月末日で満了となる。